

大腸外科手術における術後悪心・嘔吐に対するグラニセトロン投与の後ろ向き 観察研究

1. 研究の対象

2019 年 1 月 1 日より 2022 年 12 月 31 日までに大腸外科で手術を受けられる方

2. 研究目的・方法

2021 年 8 月 30 日に 5-HT3 受容体拮抗薬は術後悪心嘔吐に保険適応となりました。それをうけて大腸外科手術の際には 5-HT3 受容体拮抗薬を術後悪心嘔吐の予防薬として投与しています。しかし、実際の大腸外科手術の際の術後悪心嘔吐の予防にどの程度効果があるのかは分かっていません。今回、術後悪心嘔吐の頻度ならびに有害事象を調査することとしました。また、術後悪心嘔吐は化学療法時の悪心嘔吐と関連があると考えられています。化学療法時の悪心嘔吐を調査することによって関連を解析する予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術方法、術後悪心嘔吐の有無、副作用等の発生状況、カルテ番号、化学療法時の悪心嘔吐の有無 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者：

大阪国際がんセンター 消化器外科 西村 潤一

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上